

成人おめでとう

1月3日、すこやかセンター伊野で成人式が開催され、20歳を迎えた178名が成人の仲間入りをしました。式典に参加された新成人の方々は、久しぶりの再会に互いの

近況を話しあったり、記念写真を撮ったりと成人となった喜びを分かち合っていました。

式典では来賓の皆さんのお祝いの言葉を受け、森田克海さんが謝辞を述べられました。また町からの記念品を、新成人を代表して天野志津香さんが受け取られました。最後にアトラクションとして、吾北一番風による和太鼓の演奏が披露され、会場は新春らしい賑やかな音色に包まれました。



謝辞



記念品贈呈



本日は私たちのために、このような素晴らしい成人式を催して頂き、心より感謝申し上げます。今日のこの日を迎える事ができましたのは、家族や先生方、地域の皆様のおかげと、時に厳しいご指導のおかげと、素直に思うことができます。今日の日を迎えるにあたり、忘れてはならない事があります。それは、東日本大震災や、昨今の熊本地震、西日本集中豪雨、北海道地震など甚大な災害の発生に伴い、大変な状況下におかれていらっしゃる方々がいること。そして、その中には私たちと同じ成人を迎えるはずだった仲間、家族がいることです。災害と社会の関わり方や、人が受ける影響も含め、色々な分野から社会に貢献していく事が私たちの役割だと思っています。人が平等に与えられているものは、一つの命と時間です。寿命はそれぞれ違いますが、皆命は一つであり、一日は二十四時間です。一度しかない人生をどう使うか、それは自分次第なのです。きつと失敗の連続でしょう。挫折の繰り返しなのかもしれません。それで

西川 雅世



成人の主張